

金融ほっとライン（北海道）の受付状況

<平成28年度上期>

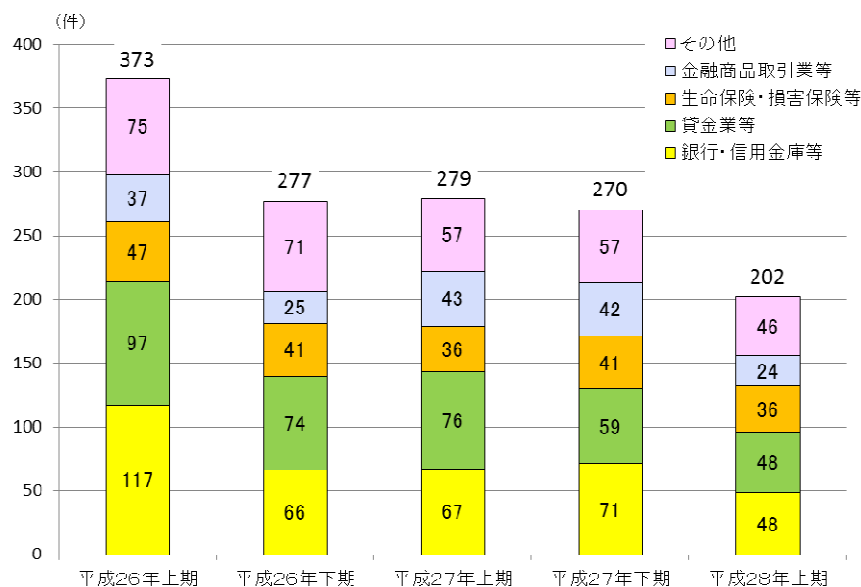


北海道財務局が受け付けた金融サービスに関する相談について、平成28年度上期(28年4月～28年9月)の受付状況を取りまとめましたのでお知らせします

◎平成28年度上期の概要

- ・平成28年度上期の受付件数は202件で、前期(H27年10月～H28年3月)と比較して68件(25.2%)減少しました。
- ・業態別では、特に銀行・信用金庫等(32.4%減少)、金融商品取引業等(42.9%減少)が大きく減少しました。
- ・金融円滑化関係の相談は4件でした。(参考～通年ベース:25年度36件、26年度21件、27年度6件)
- ・男女別の受付割合は男性61.9%:女性38.1%で、女性からの相談の割合が増加しました。
- ・今期の実績でもヤミ金の相談等が寄せられており、引き続き悪質業者への注意喚起を続けていく必要があります。
- ・不審に思う勧誘等があった場合は、ひとりで悩まずに当局「金融ほっとライン」など信頼できる相談機関へ相談して下さい。

◎相談件数の推移(業態別)

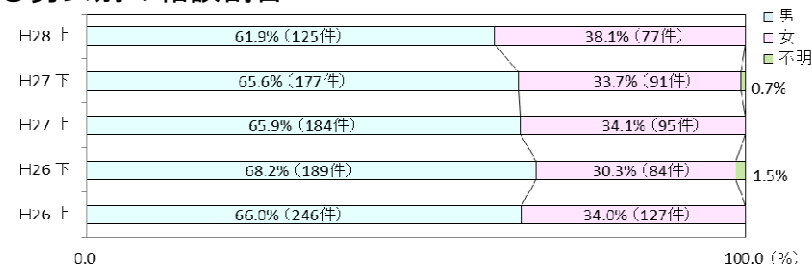


◎相談件数の推移

(単位:件)

	銀行・信用金庫等	貸金業等	生命保険・損害保険等	金融商品取引業等	その他	合計 (対前年度増減比)
平成28年度						
上期(4～9月)	48	48	36	24	46	202
平成27年度						
下期(10～3月)	71	59	41	42	57	270
上期(4～9月)	67	76	36	43	57	279
平成26年度						
下期(10～3月)	66	74	41	25	71	277
上期(4～9月)	117	97	47	37	75	373

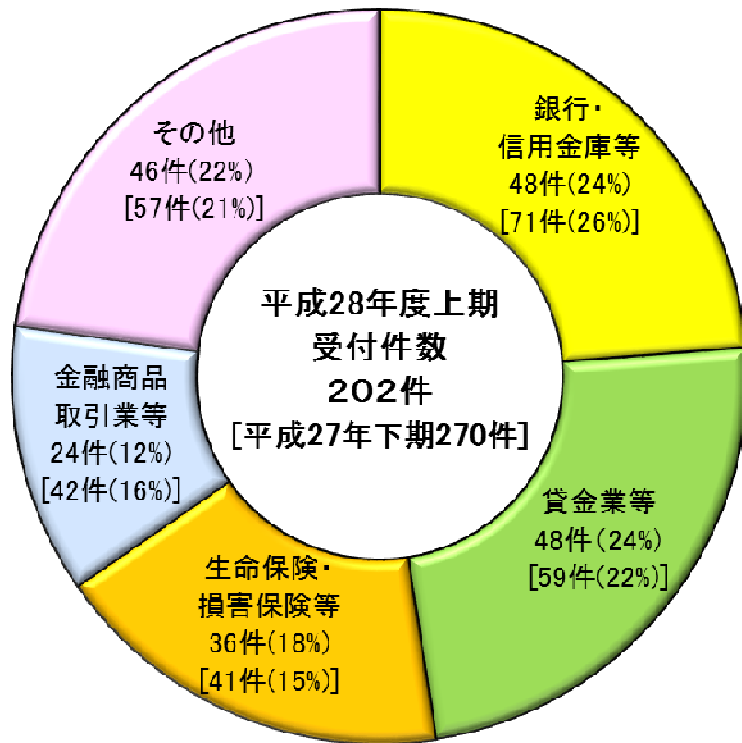
◎男女別の相談割合



☆金融関係のご相談は、気軽に「北海道財務局 金融ほっとライン（電話：011-807-5145）」へお電話を！

1. 平成28年度上期の相談受付状況

相談受付状況(全体)



(注)グラフ中、()の%は、受付件数全体における構成比です。
また、[]内の件数・%は、前期(平成27年度下期)の実績です。

(1) 平成28年度上期の状況

- 28年度上期(28年4月～9月)における総受付件数(多重債務相談除く)は202件で、前期(27年10月～28年3月)と比較して68件(25.2%)減少しました。
- 業態別での受付状況は、以下のとおりすべての業態で減少となっています。
 - 銀行・信用金庫等の受付は48件で、前期比減少(▲23件、▲32.4%)。
 - 貸金業等の受付は48件で、前期比減少(▲11件、▲18.6%)。
 - 生命保険・損害保険等の受付は36件で、前期比減少(▲5件、▲12.2%)。
 - 金融商品取引業等の受付は24件で、前期比減少(▲18件、▲42.9%)。
- 業態別の「その他」については、プリペイドカード等の前払式支払手段にかかる照会や、行政一般に対するご意見などです。

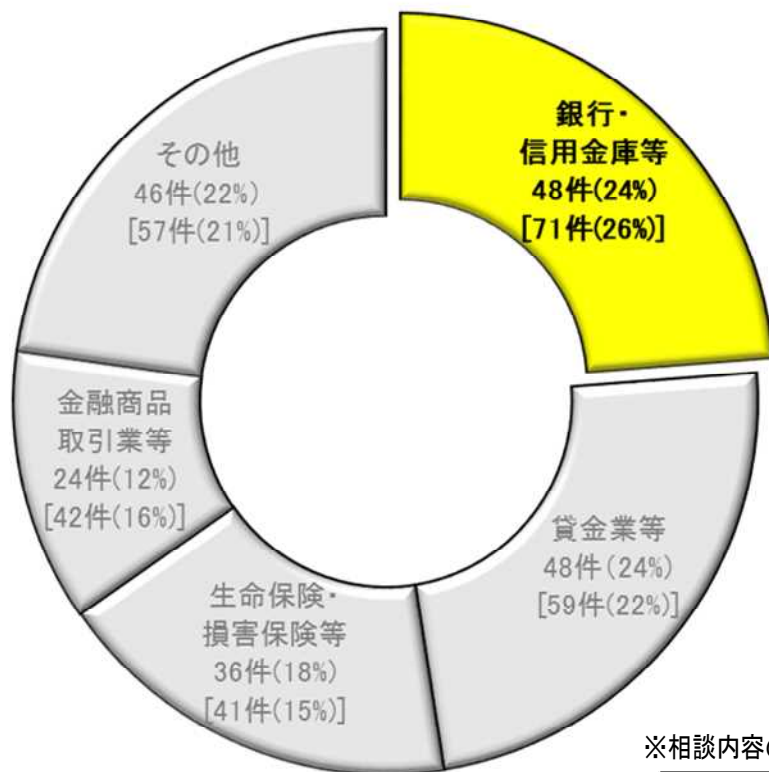
(2) 今期受け付けた相談等を踏まえた留意点

- 貸金業等関係では、押し貸し(注)などのヤミ金の相談が寄せられています。ヤミ金とは接点を持たないことが肝要です。万が一接点を持ってしまった場合は、相手に一切情報を与えず、すぐに最寄りの警察に相談して下さい。

(注)押し貸しとは、契約していないのに一方的に銀行口座へ現金を振り込み、法外な利息などを請求してくるヤミ金の手口です。

2. 業態別の相談受付状況(1/4)

① 銀行・信用金庫等



(1) ポイント

- 銀行・信用金庫等にかかる相談については、前期(27年度下期)比で32.4%(23件)減少しました。
- 金融円滑化にかかる相談は、26年度21件、27年度6件と減少傾向となっており、平成28年度上期における受付件数は4件でした。

(2) 平成28年度上期の概要

- 個別の相談内容の内訳では、態勢・事務手続等、一般的な照会・質問が大きく減少しました。
全体の受付件数は前期比で32.4%減少し、48件となっています。
- 取引内容別では、預金取引関係が19件、融資取引関係が14件、その他が15件となっています。

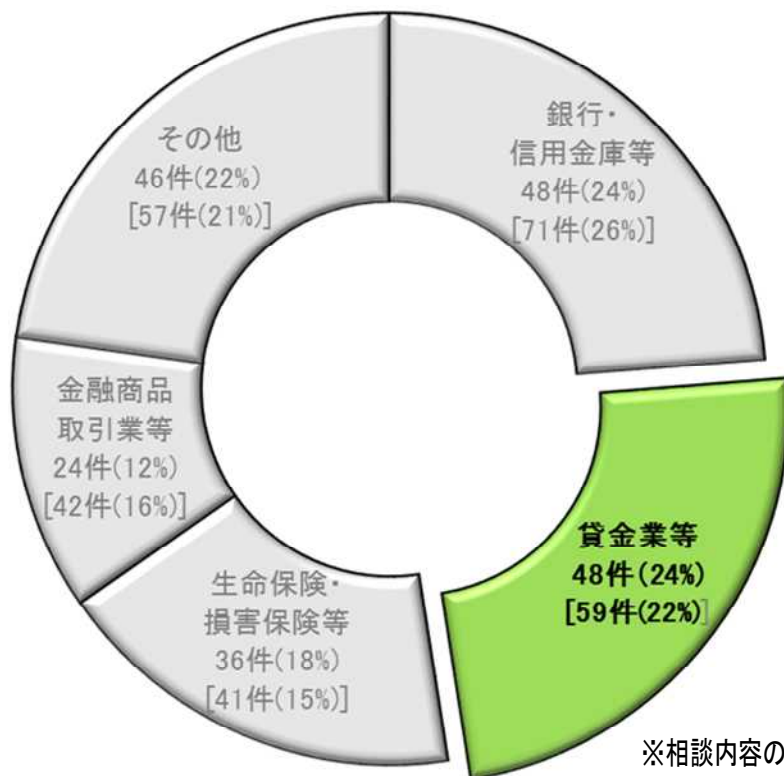
※相談内容の内訳

(件)

	個別契約 (顧客説明)	個別取引 (結果)	不適正 な行為	態勢・事務 手続等	一般的な 照会・質問	行政に対する 質問要望等	その他	合計
平成28年度上期	11	9	2	7	3	16	0	48
平成27年度下期	11	11	3	14	11	21	0	71

2. 業態別の相談受付状況(2/4)

② 貸金業等



(1) ポイント

- 貸金業等の相談では、押し貸し(銀行 口座へ一方的にお金が振り込まれてくる)や、また、ネットで知った無登録業者に融資を申し込んでしまい、取り消したが手数料を要求されたといった、ヤミ金被害の相談がありました。
- 悪質業者と関わってしまった場合は、相手に一切情報を与えずに、すぐに最寄りの警察署へ相談して下さい。

(2) 平成28年度上期の概要

- 個別の相談内容の内訳では、不適正な行為や行政に対する質問要望等にかかる相談が減少しました。
全体の受付件数は前期比で18.6%減少し、48件となっています。
- 相談内容別では、貸金業者の登録確認の照会などの件数が多いことから、一般的な照会・質問が最も多くなっています。
- ヤミ金業者にかかる照会・相談は13件で、前期(15件)とほぼ同数の相談等が寄せられており、引き続き留意が必要です。

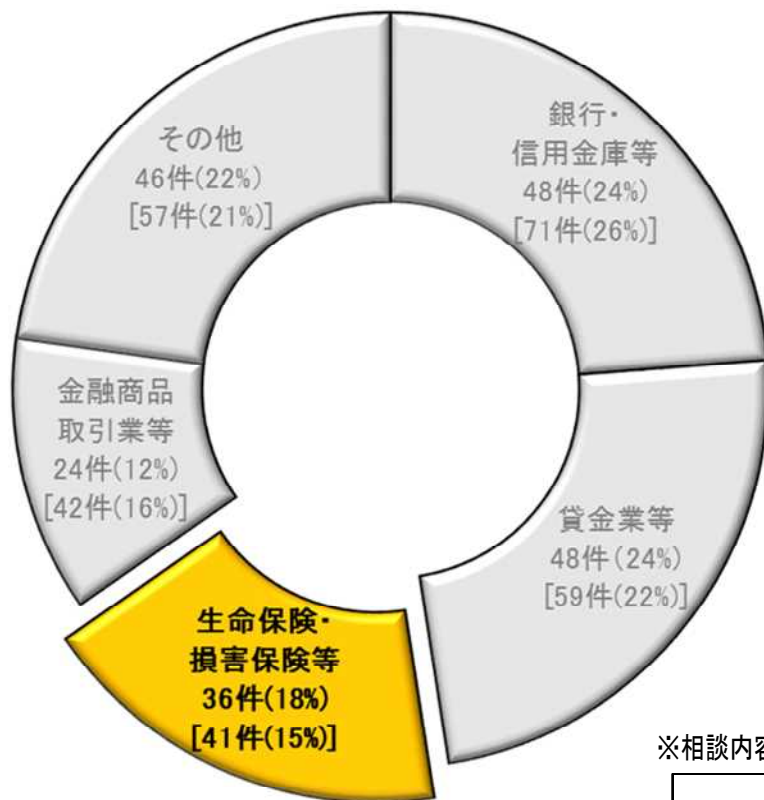
※相談内容の内訳

(件)

	個別契約 (顧客説明)	個別取引 (結果)	不適正 な行為	態勢・事務 手続等	一般的な 照会・質問	行政に対する 質問要望等	その他	合計
平成28年度上期	1	8	2	10	20	7	0	48
平成27年度下期	0	9	8	9	20	11	2	59

2. 業態別の相談受付状況(3/4)

③ 生命保険・損害保険等



(1)ポイント

- 保険関係の相談では、従前からの傾向として保険金支払にかかる保険会社とのトラブルについての相談が多く、当期もその傾向に変化はありません。

(2)平成28年度上期の概要

- 個別の相談内容の内訳では、個別取引(結果)が減少した一方、請求中の事案にかかる保険会社の説明に納得できない等、個別契約(顧客説明)の項目が増加しました。
全体の受付件数は対前期比で12.2%減少し、36件となっています。
- 行政に対する質問要望等については、監督官庁の確認や問合せ先の照会といった内容となっています。

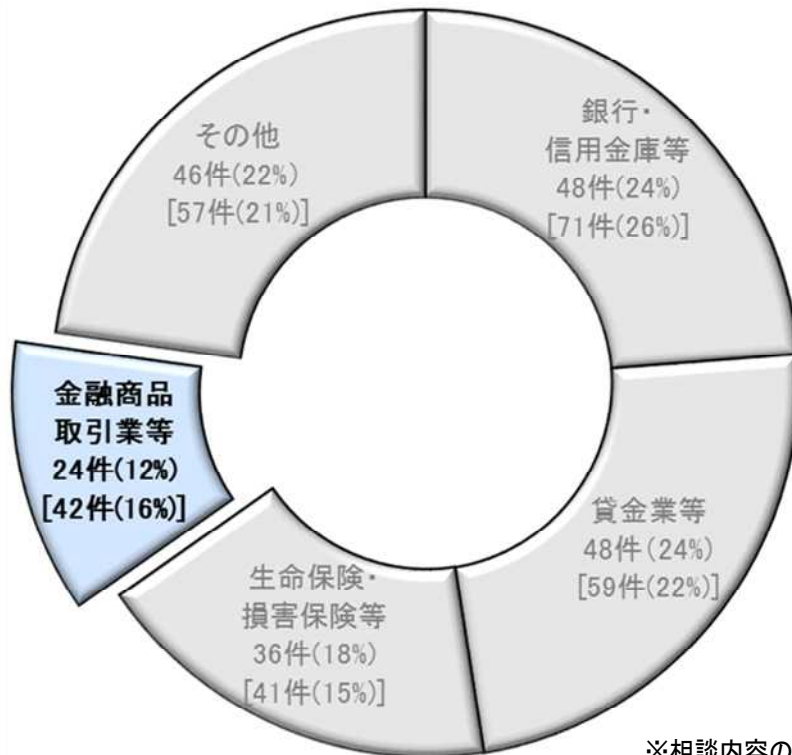
※相談内容の内訳

(件)

	個別契約 (顧客説明)	個別取引 (結果)	不適正 な行為	態勢・事務 手続等	一般的な 照会・質問	行政に対する 質問要望等	その他	合計
平成28年度上期	10	8	3	6	1	8	0	36
平成27年度下期	8	14	2	5	6	6	0	41

2. 業態別の相談受付状況(4/4)

④ 金融商品取引業等



(1) ポイント

- 金融商品取引業関係の相談では、インターネットでバイナリーオプションでの儲け方を情報商材として提供する者が、海外の無登録業者の口座開設を勧めているとの相談がありました。
海外所在業者であっても、日本国内で金融商品取引を業として行う場合は、金融商品取引業の登録が必要です。登録を受けずに金融商品取引業を行うことは、禁止されています。
怪しいと思った場合は、当局金融ほっとラインに相談して下さい。

(2) 平成28年度上期の概要

- 個別の相談内容では、行政に対する質問要望等が大幅に減少した一方、個別取引(結果)にかかる相談が若干増加しました。
全体の受付件数は対前期比で42.9%減少し、24件となっています。

※相談内容の内訳

(件)

	個別契約 (顧客説明)	個別取引 (結果)	不適正 な行為	態勢・事務 手続等	一般的な 照会・質問	行政に対する 質問要望等	その他	合計
平成28年度上期	2	4	2	6	4	6	0	24
平成27年度下期	5	1	6	8	8	14	0	42